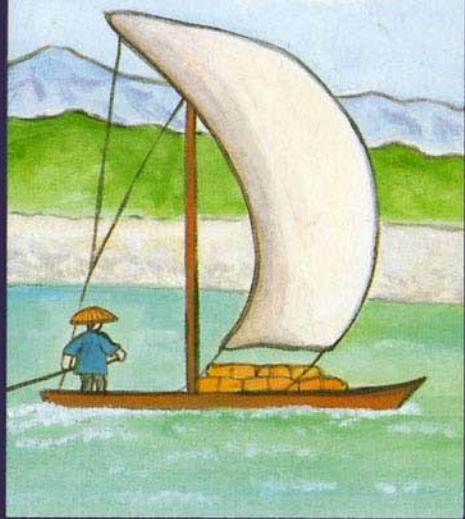


を



を

帆ほをあげて

船ふねの通かよった

相模川さがみがわ

相模川さがみがわの帆ほかけ船ふね

相模川は、山梨県やまなしけんの山中湖から流れ出し相模湾さがまわんへ注いでいます。上流に津久井湖や相模湖などの人造湖ができるまでは、水量も豊かでした。多くの荷物を運ぶため帆かけ船がこの相模川を往来していました。

上流の田無たなし(相模原市)付近からは工用の玉石や材木などを運び、下流の平塚から肥料を運搬したりしていました。また、川幅が広く深いため対岸の厚木市へ行くには渡船わたせん(乗り合い船)が公設、私設などによって行われていましたが、昭和三十四年に座架依橋ができ、廃止されてしまいました。

を